

耳鼻咽喉科研修プログラム

指 導 医 関根 大喜

研 修 期 間 基 本 コ ー ス 選 択 科 目 1 ヶ月から9 ヶ月
小児科・産婦人科コース
産 婦 人 科 主 科 選 択 科 目 1 ヶ月から6 ヶ月
小 児 科 主 科 選 択 科 目 1 ヶ月から6 ヶ月

研修目標

耳鼻咽喉科領域の医療、福祉に関する問題については、社会のニーズに対応し、専門医として、医の倫理に基づき診療を適切に実施し、境界領域の疾患の処置を正確に行う。

一般教育目標

必要な症候学の知識に精通し、適切な問診がとれる能力を有するとともに、患者心理を理解して問診する態度を身につける。外来で行いうる検査方法や検査機器を理解し、必要にして十分な検査を行い得る能力を持つ。問診、症状、所見による診断ならびに鑑別診断を行う能力を持つ。

疾患の内容、程度を把握し、適切な専門的外来治療を行う能力を持つ。救急疾患、外来診療に伴う偶発症に対する診断能力、処理能力を身につける。

行動目標

外来の受け入れ、文章の作成など

問診

鑑別診断

1. 耳
2. 鼻の副鼻腔
3. 口腔
4. 咽頭
5. 喉頭
6. 気管、食道
7. 頭頸部

救急、偶発症

外来で可能な救急処置ができ、診療に伴う偶発症に対処できる（気管、食

道出血、異物症、めまい、突発性難聴)

入院

主治医として耳鼻咽喉科領域の基本的臨床能力を持ち、入院患者に対する全身、局所管理を適切に実施できる。

検査

耳鼻咽喉科領域の専門的検査の適応に従い実施し、結果を判定、評価する。

1. 聴覚検査
2. 平衡機能検査
3. ファイバースコープ
4. X線検査、CT、MRI
5. 嗅覚検査

月一回定期的カンファレンス

評価

評価はE P O Cを使用し、自己評価及び指導医の評価を行う。